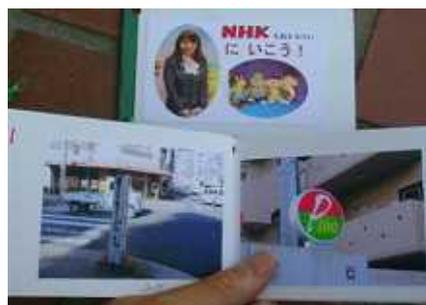


教材事例書式

|   |                     |  |
|---|---------------------|--|
| <p>教材教具名 生単視覚支援（2008）<br/>見通しスケジュール小物3点</p> | <p>教科( 生活単元学習 )</p> |  |
|---|---------------------|--|

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 生単の学習に置いて視覚的なサポートにより見通しを持って活動できる。
- 2 発達段階 対象 自閉症児 数字や上下で順番が意識できる。
- 3 使い方
 

校外学習で動物園に行くとき、各活動をするとき赤丸シールを貼っていく。  
そのことで今することや、次することは何かを意識する。  
野外活動において、一日の流れを視覚的に見せる。と同様シールを貼る。  
校外学習でNHKへ行くとき、写真を順番に通過する場所を探していくことで、目的地まであとどのくらいなのか気持ちを持ち続けて行動できる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

校外学習の当日の朝から見せておくことで、どこにどう行って何をすることが分かり、不安を減らすことができ、安心して参加できた。また、現地の途中で、違うことに気持ちがそれることを防ぐことができた。

野外活動という長い活動でも、と同様、シール式で今する活動にシールを貼っていくことで、することの順番を見通すことができていた。

前事例の や が一枚物で大きめだったので、長距離を歩くことを考慮し、ブック式にした。の利点は、首かけ式にしたので邪魔にならず、両手が使え、見たいときに見られて、首にかけられるので無くしてしまうことがない。

、 の利点は、一枚物なので、A4用紙で印刷したらすぐを作ることができる。反面 は写真を印刷したあと切り貼りして、ミニ冊子にするのに手間がいる。TPOで作る形式を考えるとよいだろう。